

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	寺沢 隆宏
	全体計画		平成25年度	～	平成27年度	経費区分		経常的経費		内線		3115
事務事業名	4033 行政改革推進事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	07024600 市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費										
	事業	060000 行政改革推進事業										
事業目的						事業概要・効果						
<ul style="list-style-type: none"> ・「最少の経費で最大の効果」があげられる、柔軟で効率的な行財政の推進 ・世代間の公平性を踏まえた上で、将来世代に負債を負わせない行財政運営となるための改善 						<p>「4つの柱(共創、人財育成、サービス向上、財政健全化)」に沿って職員や市民の皆さんの創意工夫により、「収入の確保」、「支出の削減」で約6億5,700万円の効果額をあげた。改革項目では、達成率約98.6%。</p>						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
行財政改革第二次チャレンジプランの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共創の推進(市民、民間団体との共創の推進) ・ 人材の育成とサービスの向上 ・ 歳入の確保 ・ 事業の見直し 	行財政改革第二次チャレンジプランの推進 <p>実績効果算出額(22～23)–「収入確保」約2億5千万円、「支出削減」約2億5千万円</p> <p>課等の課題進行管理システム導入</p>
平成24年度 実績	平成25年度 実績
行財政改革第二次チャレンジプラン最終年度での総括3か年の効果額を算出–「収入確保」約3億8千万円、「支出削減」約4億6千万円 <p>第三次チャレンジプランの策定</p>	第三次チャレンジプランの推進(計画期間25～27年度) <p>「収入の確保」、「支出の削減」で約9億5,606万円の効果額をあげた。改革項目では、214項目のうち186項目を実施、達成率87%。</p>
平成26年度 実績	平成27年度 予定
第三次チャレンジプランの推進 <p>「収入の確保」、「支出の削減」で約6億5,700万円の効果額をあげた。改革項目では、230項目のうち227項目を実施、達成率98.6%。</p> <p>公共施設の今後のあり方方針の策定開始</p>	第五次総合計画後期基本計画と連動した、次期行財政改革の策定 <p>第三次チャレンジプランの推進、期間最終年度の総括公共施設の今後のあり方の全体方針の策定</p>

指標名	第三次チャレンジプラン効果額					単位	億円
算式	支出削減、収入確保による効果額						
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	2.67	3.75	1.51	2.86		3.78
	実績	2.7	3.33	9.56	6.57		
指標選定の理由	財政健全化に向け、支出を削減し収入の確保する取組みの可視化						
最終年度目標の根拠	実施計画において算出した基金繰出額のうち約半分を目標効果額とした						
指標名						単位	
算式							
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式							
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		176	1,346
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		176	1,346
人員数(人)	正規職員	0.8	0.7
	嘱託職員	0.7	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,486.4	4,800.6
	嘱託職員	1,907.5	817.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,393.9	5,618.1
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		7,569.9	6,964.1

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	27	改善事例報告会評価者謝礼20
11節 需用費	7	各種委員会開催時「蔵っ水」購入
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	142	行政改革推進委員報酬 26、旅費・費用弁償 26、無作為抽出による委員募集通知郵便料 90

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	320	「公共施設等総合管理計画」策定アドバイザー謝礼300千円
11節 需用費	7	各種委員会開催時「蔵っ水」購入
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,019	行政改革推進委員・指定管理者審査会報酬 780、旅費・費用弁償 129、無作為抽出による委員募集通知郵便料 90

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	「最少の経費で最大の効果」をあげることのできる柔軟で効率的な行財政の推進、世代間の公平性をふまえた上で、将来世代に負債を負わせない行財政の推進のために、行財政改革は行政経営に必要不可欠である	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	特定の部署のみの取組みとなっている面もあり、組織全体かつ市民共創による行財政改革の推進としては、改善の余地は多くある	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	前年と同等の推進はできているが、自発的な改善、効率性向上には至っていない	

振り返り（決算年度の取組み課題）

平成28年度からの次期計画では、削減だけに取組むのではなく、人材育成や組織体制の見直しを行うため、日常的な改革改善を実現できる職場の風土改革や、業務の整理、すぐれた業務プロセスの構築等に力を入れていく。
あわせて、第五次総合計画及び各部署の将来像を職員一人ひとりが認識し、将来像実現に向けた継続的行財政改革を組織的に行う組織風土づくりをすすめる。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>第三次行財政改革チャレンジプランの平成26年度実績は、目標額以上の効果があった。改革項目は、どれだけの部課長が意識をして改革に取り組んでいるかが疑問。項目の設定について検討が必要。</p>		<p>第三次行財政改革チャレンジプランの目標効果額を大きく上回った。また、評価業務の負担軽減にも努めているが、業務全般にわたり、各職場における負担軽減に努めるとともに、小さなことの積み重ねも大切にする必要はある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	